

日本学術会議地域研究委員会
縮小社会の地域構想分科会
(第26期 第2回) 議事要旨

日 時：2024年6月17日(月) 15:30～17:30

会 場：ビデオ会議にて開催

出席者：中澤高志、矢野桂司、井口梓、石川義孝、井田仁康、片岡博美、小池司朗、佐無田光、嶋田暁文、田原裕子、豊田哲也、中谷友樹、橋本雄一、埴淵知哉、浜口伸明、宮町良広、宮本恭子、森本泉、山下潤、由井義通、與倉豊、渡辺浩平、香坂 玲、小山大介、木本喜美子(以上、名簿順、敬称略)

欠席者：竹沢泰子、池口明子、石川徹、近藤章夫、若林芳樹(以上、名簿順、敬称略)

議事概要

議題1：情報提供とシンポジウムの提案

1. 地域研究委員会が所属している第一部の令和6(2024)年度予算について

世話人の中澤会員より、地域研究委員会が所属している第一部の令和6年度の年間予算ならびに委員手当、委員等旅費などについて説明がなされた。

2. 経済地理学会との共催によるシンポジウム開催について

中澤会員より、分科会開催のシンポジウムについて、経済地理学会北東支部の地域大会(2025年11月頃開催、開催地は函館を予定)と共催で行うことが了承された旨、本分科会員から登壇者を数名選定する旨の報告があった。あわせて、シンポジウムの広報やアウトプット等、共同開催のメリットについても説明があった。

議題2. 研究報告とそれに基づく討論

嶋田暁文連携会員(九州大学大学院法学研究院、行政学・地方自治論)

「農山村で生きることは『非効率』なのか」

嶋田会員より、「課題先進地」としての農山村における工夫の創出について、「機能の集中＝拠点化」と「合わせ技」、「共創(共生・連携)」というキーワードに基づいての報告がなされた。各委員から多くの質問や意見が出された。

議題3：今後の活動方針についてのブレインストーミング

「縮小社会の地域構想」分科会としての活動・議論の柱や、シンポジウムを開催する際の話題提供分野等、ならびにシンポジウムの開催までの分科会の活動について、小グループに分かれブレインストーミングを行った。その後各グループによる簡単な報告がなされた。

議題4：上記ブレインストーミングの報告を踏まえての今後の進め方について

中澤会員より、上記ブレインストーミングで出た議論を踏まえ、今後、分科会をいくつかのチームに分け作業してもらうことについての提案があり、各委員からの同意が得られた。